

マザーハウス

たより

**あなたは愛されるため、また、愛するために生まれてきたのです。
あなたが必要であり、大切です。マザーハウスはあなたの家族です。**



絵：光りんさん

2023

6 月号

- | | |
|---------------|----------------|
| 2 理事長挨拶 | 18 社会の声（学生の感想） |
| 5 育児日記 | 20 健康相談 |
| 6 塀の中のとより | 22 ラブリー DAY |
| 14 ささきみつおコーナー | 23 お知らせ |
| 16 プリズムアート倶楽部 | |

理事長挨拶

今回、理事長に代わりまして挨拶をさせていただきますことになりました。事情があり実名は伏せさせていただきます。また、乱筆乱文ですがご容赦いただけます幸いです。よろしくお願いいたします。

さて、犯罪の温床除去という大目的に共感し、この団体に発足当初から参加しておりますが、実は、私も加害者支援に理解があつたわけではありませんでした。どちらかといえば、加害者には厳しく、被害者支援に注目している方でした。

もちろん今でもその考え方が一般的であると思っております。しかし、理事長の五十嵐に誘われ、彼の体験談を聞いて考えが変わりました。どのように変化していったかということは、今までの「たより」の理事長あいさつや講演などで、加害者支援に理解をしていった皆様と同じ流れだと思えますので、ここでは割愛させていただきます。

ここで私が言いたかったことは、災害時などと同様、実際に現場に行つて当事者と会ったり、話を聞いてみたり、雰囲気を感じてみたりしないと何も見えないということです。分かった気であるのと、実際

に知っているということは全く違うということです。

私は、普段の仕事で外国人と接する機会がたくさんあります。留学生や技能実習生はもちろん、彼らの知り合いには、難民申請中の人もいます。また児童養護施設の関連団体にも参加しており、当事者（子供たち）とは、そんなに接しませんが、職員の方とは接する機会があります。

私が五十嵐から刑務所について聞かされていたのが、私見ですが、強大な所長権限です。所長が変われば多くのことが変化し、所長次第ということも大分あるように感じています。同様のことが出入国管理局（以下、入管と記述）にも起きているようです。

実は所長の異動などの情報に、外国人の方がアンテナを立てています。例えば「数年前までは、ある入管は入りやすかったが最近厳しくなり、今は別の入管が入りやすい」などの情報をSNSなどを介して、すぐに彼らは共有します。彼らに尋ねると、それも所長の異動が大きくかわっているようです。また、これは最近改善されてきているようですが、難民申請についても入管の管轄によって受理されやすい（それにより概ね2年間日本で働ける特定活動ビザがある）ところが決まっており、やはりSNSを介して、あたかも短期の就労ビザを日本が始めるらしいというような情報となり、

一気に拡散されるようです。もちろん、それに付随する公文書偽造などの違法な団体も反応することです。

児童養護施設についてですが、こちらは多くの人から理解と協力を得られております。おかげさまで寄付も集まりやすく、物質的（衣食住）にはある程度満たされてきております。メンバー同士で今何が必要かと話題になると、大学進学が一般的になっている昨今、その経済的な援助が話題の中心になることが多くあります。

ところが、ある日職員の方から「Nさん、一緒に施設を回りますよ」と誘いを受けました。施設に顔をだすことは珍しいことではありませんが、いつも事務所です。子供たちや現場の職員と会って話す機会は、年に数回しかありません。そこで施設に顔を出し、その現実を見ました。そこは不登校やリストカット、抗鬱剤の服用は珍しくなく自殺未遂と疑われることが起こるような世界でした。

それと並んでインパクトがあったのは、学校や理解のない一部のご近所様とのやりとりや、役所や警察、消防からも注目され、それらのことが起こりやしないか心配し通しで、子供たち以外のことにも気疲れしている職員の方たちでした。確かに寄付は増えつつあり、とてもありがたいのですが、物質的な問題は一部に過ぎず本題は別にあるように感じました。

さて、ここまで書いてきて、私が言いたいことは、法務省における所長権限などに若干の闇を感じないわけではありませんが、ほとんどの公務員や職員、入管も擁護施設も職務にまじめに取り組んでいるということだと思います。ある程度ガイドラインがあり、それにまじめに取り組んでいると考えています。

しかし、それでも問題が生じるというならガイドラインなどに問題があるのかもしれませんが、それは、それを作るのは誰でしょうか。立法府です。しかし議員立法はあるとは思いますが、実際は行政側の要望を立法府が通すということが多いのではないかと思います。では行政府がだめなのでしょうか。私はそうは思いません。やはりまじめに取り組んでいると思います。しかし立法やガイドラインに影響力を持つ人が、頻繁に直接現場に行つて、末端の話を聞くということを私はあまり聞いたことがありません。私が具体的に分かりやすいと思う例は、外国人犯罪について、あまり外国人に情報の提供を求めているように見えません。日本人で考え、対処を日本人の頭で考えているのでは、的外れになるでしょう。まじめな外国人や日本人の重箱のすみをつつき、悪質な外国人犯罪にはザルということが起こっているようにも見えます。

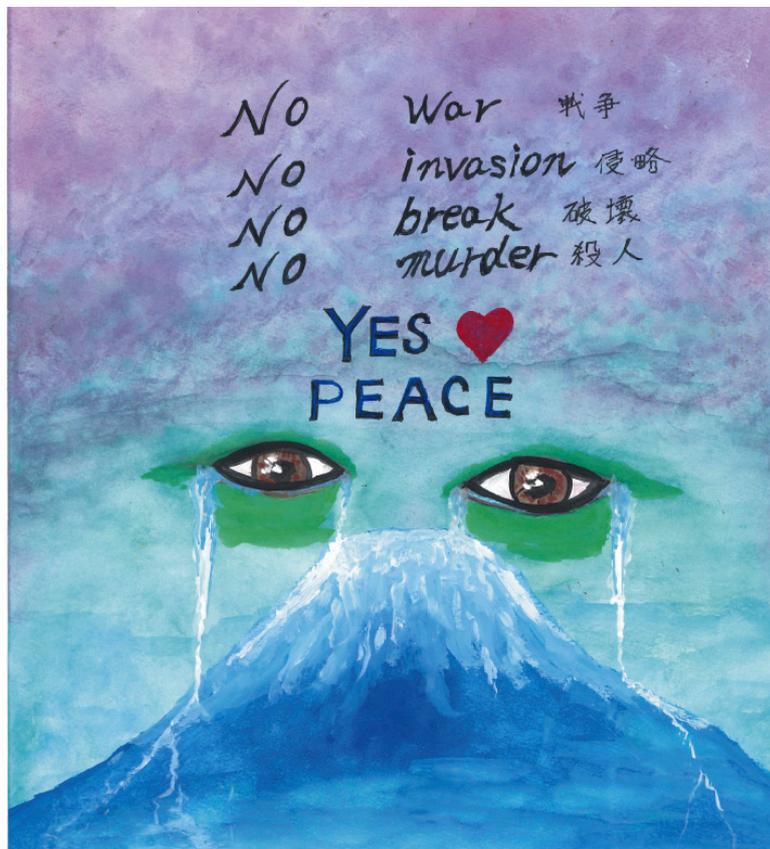
次頁に続く

これは、一例です。今、このようなことが蔓延しているように感じています。

そこで偉い人たちへ、末端で何が起きているのかを行って肌で感じてください。組織の都合ではなく正確な情報を提供している人が評価され、守れらる仕組みを構築していただく。頭がよくても、学歴があっても、それだけでは何も見えないということをお覚してください。そして責任の概念を変えてください。自分の管轄内で何もなければ責任をまっとうしたなどと思わないでください。養護施設を出た後の子供たちが、ちゃんと生活ができるようにすることを考え、それをしやすい環境を整えてあげてください。刑務所を出た後の人がどうしたら普通に生活できるようになるかを考え、社会が、受け入れやすくしてください。いずれも難しいと思いますが、ヒントは現場に寄り添うことで得られると信じます。

これらは、官民、そして社会全体がチームとして行わなければ、難しいでしょう。最後に、縦割りはほじほじ。簡単ではございますが、以上で挨拶とさせていただきます。

以上です。



世界が平和で、すべての人が幸せに生きられる世の中になりますように。

絵：エイルさん

育児日記



理事長妻ブログ

夫が出張中、久しぶりに風邪をひいてしまって、布団から起き上がれなくて家事ができなかったのですが、長男Aと長女Kがコンビニでご飯を買ってきてくれたり、お風呂掃除をしてくれたり、とても助かりました。

また、小学校の運動会がありました。長男はエイサーを踊っていました。長女Kは、かけっこで1位をとっていました。二人とも素晴らしいかったです。



次女のRは、おしゃれが大好きで、一日に何回も洋服を着替えたり、ドレスで寝たりしています。

三女のMも、お姉ちゃんの影響でドレスをよく着ています。「お化粧して」と言われたので、顔にイタズラをしたら、鏡をみて喜んでいました。

塀の中のたより

「更生とは？」への返答

N刑 碁好きパパさん

「更生」の意味は、①生き返る。②元の正常な状態に戻る。③再生。で、刑事施設内では主に②の意図で使用されています。でも、「元」とはいつ頃の事なのか？

正常の基準や異常との境が曖昧で、正しい答えがないので迷う気持ちは判ります。

仮に虐待のせいで、幼少期から他人は暴力で従わせるのが当然と信じてきた人がいたら、その人には正常な時期が存在しないため更生できないという話になってしまう。なので私は、「過去の愚かな自分と決別して、社会の一員と認められる真人間に生まれ変わる」ことを更生の目標にすべきだと思います。

そして「更生した」とは、周りの人の評価である。「俺はもう更生したから大丈夫だ」と言う人は、

受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙を紹介します。



自身の事を何も理解してないし、現実を認められない可哀相な人です。

贖罪や償いの方法は事件内容や事情、誰に対してかで千差万別に異なりますが、被害者・世間が求める更生は概ね以下の5点です。

- ・ 周囲に迷惑をかけない健全な生活をする。
- ・ 欠点・短所を認め改善し、言動と思想も誤りを正す。
- ・ 自分本位の考えを辞め、相手を敬える互助の精神を持つ。
- ・ 過信も卑下もせず、己に適した役割を見つけ社会に参加する。
- ・ 社会人として恥ずかしい行為をしない。

文にすれば当然で簡単な事ですが、何かで気持ちにゆとりが持てなくなると、こんな当たり前の事すらできなくなり、事件や事故を起こしたり巻き込まれてしまうのです。

ズバリ！更生とは人道から外れてしまった人が、二度と道を踏み外さないように持ち続けなく

てはいけない自戒の念です！

更生をガーデニングで例えると、どれだけ完璧に仕上げても、手入れ（努力）を怠れば、すぐ雑草（雑念）に侵食され、庭（心と生活）は乱れてしまう。これではダメですよ。

自分で更生を実感できるとしたら、人生の最後の瞬間に後悔がなく、家族や友人達に「よく頑張ったな」と、笑顔で見送ってもらえた時だと思えます。

過去の悪行は一生消えませんが、これから清く正しく生活して、人と社会の為に尽くすことで、犯した罪業は浄化していきます。

独りでは道に迷いそうになったら、ドクターKさんのようにマザーハウスを通して仲間に聞けば良いのです。私はもうすぐ帰郷するので、たよりの中で会員が抱える悩みや疑問を解消できるコーナーを設けられないかと、理事長に提案します。

この更生に対する見解は私見であり、絶対に正しいとは言いませんが、世論の大半が望んでいる事です。私に対する反論・質問等があればお便り下さい。更生は独りでは困難なので、私であれば応えます。

たより5月号 O刑ドクターKさんへ

I刑 Hさん

ドクターKさんの投稿を読み、私なりの更生という事についての考えを参考になるか分かりませんが書いてみることにしました。

私はドクターKさんの刑務所で言うところの10年戦士どころではない、もうすぐ30年戦士です（笑）。ちなみに女子受刑者です。今から31年前、当時付き合っていた彼と強盗殺人を犯し1審で死刑となりましたが、2審で無期懲役となり受刑者となって28年目に入りました。

社会にいた頃の私はヤンキーでも悪い事をするでもなく、一見普通なのですが、規範意識は薄く、悪い事を悪い事と思わず反省などもする事なく、自己中心的で二丁で親を金づると思っていて、自由気ままに生きていました。でも、外面がいいから良い子と見られていたように思いますが、心の中はいつも荒れていました。

そんな私が事件を起こし死刑となり、被害者の方達に対しては申し訳ないと思う気持ち辛うじてありました。が、生きることに執着がなかった為、死んで償うから

いじゃん！と開き直り、呑気に拘留所生活を3年送っていたところ、2審で無期となり、1番嫌な生きることになってしまったから、さあ大変ー！ 何の心の準備もなまま刑務所に送られ、何も考えられずなめきっていたある日、金線の幹部職員に、「あなたは甘えている。無期は自分の生活態度が自分の出所を決めるのよ」と叱責され、「何言ってるんのおばさん」と思って、はあーと適当に聞いていました。

ところがある日突然、きっかけなどは何もなく私はこのままではいけない！ーと思いつき、今迄の人生で何かが続いたこともない、すぐ諦める、面倒臭がつてやめる・・・そんな私が1つの誓いを立てました。出所する迄、真面目に生活して懲罰にならない、被害者の方達に恥ずかしくない生活をするという事です。それも償いになると思いましたし、何か1つでも成し遂げられたら自信にもなると思ったのです。

元々真面目ではないので、最初は演技でした。それでも長く続けていると、それが本当になってくるもので、ドクターKさんの様に、私も「素直」「正直」そして「明るさ」を心に秘め日々生活してきました。ニートだった仕事嫌いの私が作業に責任感を持って取り組み、生産を上げること生き甲斐を感じ、職員や同囚とも節度を持って仲良くし、人とトラブルを起こしたこともなく、班長や衛生係、図書係などを任されるようになり、信頼

と信用を得ることも出来ました。

とにかく心掛けたことは、何にでも一生懸命ということ、努力をするという事でした。そうすれば、結果は後からついてきて反省する心も芽生え、何が悪かったのかという事も考えられるようになり、どうすれば同じ事を繰り返さないかということも分ってきました。30年近く経つというのにまだ改善出来ない部分もあります。そんな時、まだまだダメだな私と落ち込みますが、またどうしたら良いのか考えます。

「更生」とは何かと聞かれて、「こうです」と私もはっきりとは答えられません。でも、社会にいた頃の悪かった自分と今の自分を比べると全然違います。それはやはり、最初に誓った真面目に生活して懲罰にならないという思いが続けられていることが自分を変えてくれているのではないかと思います。

刑務所を出てからも「更生」は続くものだと思うし、一生背負っていかなければならないと思います。ドクターKさんが大事にしている事、これは非常に更生に繋がると私も思います。更生とは何か分からなくとも、その思いを大切にしていれば自然と更生に繋がって行くと思うので、これからもその思いを大切にして下さい。自分では分からなくとも、職員さんがちゃんと見て分かってくれるはずですよ。

最後に私が心掛けている事があと2つあるので
すが、「正しい行動をとる」という事と「やまし
い気持ちを持たない」です。まあこれは「正直」
と繋がりますが、これらを心掛けて生活していま
す。

更生とは何か？と深く考えず自然体で自分らし
く自分の思いを大切にして生活してみるのいい
のではないかと思います。それがきつと、更生に
繋がると私は信じています。こんな文で参考に
なったか分かりませんが、ドクターKさん、これ
からも頑張ってくださいね。

集大成

丁刑 アフロ犬さん

スタッフの皆様、ボランティアの皆様、いつも
本当にお世話になってます。そして全国の同志の
皆様、お疲れ様です。

まず私事でございますが、9年2ヶ月に及び拘
禁生活も、いよいよあと1年となりました。振り
返ると様々なことがありましたが、多くの人達に
支えられ、やさしさに救われてここまで辿り着く



受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙 - つづき -

ことができました。本当に感謝しかありません。
私はここからの1年を集大成の1年ととらえて、
様々な恩に報いる働きができるよう精進を続けた
いと考えています。

社会では5月にコロナを感染症5類に下げた
ため、マスクの着用を個人の判断に委ねたり、大き
く変わってきています。ところが当所はこれまで
と全く変わらない感染対策を続けています。もち
ろんマスク着用は100%義務です。卓球大会は
中止です。なぜ日本政府の方針と逆の処遇が続く
のか理解ができません。

ウクライナでの戦争が長期化し、エネルギーの
高騰、物価上昇が止まりません。刑務所内の様々
な所に悪影響が出ています。日用品も驚くほど値
上がりし、物価は上がるのに集会の金額が上がら
ないので当然質が低下します。そしてついには聖
域とされていた日々の食事にまで影響が及んで来
ました。夕食のおかずが1品減らされ、牛肉メ
ニューが消えました。トンカツやチキンカツなど
のいわゆる1品物もほぼ消滅です。

ただでさえ楽しみの少ない刑務所生活が3年前
のコロナ以降とんでもない事になっていると思い
ます。この先も光が差す兆しが全く見えないので

辛抱の時期が続くことになると思えます。だけれど私達はそんな中でも生きていかなければなりません。そもそも受刑生活は理不尽の連続です。それだけは覚悟して受け入れないと、平穏な日々は訪れません。そしてつまらない見栄を捨て、共闘する仲間を作ることです。男である以上、日常は戦いの連続です。刑務所の方針や職員との戦い、作業との戦い、レクで他工場との戦い、その上で自分と戦い続けなければいけません。そんな中で共闘できる仲間の存在は大きいですよ。昨年唯一開催された運動会での優勝は、WBCでの優勝より価値がある優勝だったと個人的には思っています！（笑）。当然そうになると、今年はV2が目標となります。もうすでに動き始めてますが、秋の結果報告を楽しみにして下さい！引き継いだ大和魂は永遠です！ 出合いは人生を変えてくれます。

大切なのはどう活かすかです。全ては自分次第なのです。私はこれからの人生を生き直すために今を生きています。大分遠回りしましたが、やっと手応えがつかめました。本当の勝負地は社会です。先に待つ仲間達と笑って酒が飲めるよう集大成の1年も気合入れて精進したいと思えます。それでは皆さん、頑張りましょう！



受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙を紹介します。

私の覚悟

Y刑 Fさん

近頃、貴NPOのお陰様もあり、クリスチャンでないのに、恐らく社会で忙しいクリスチャンよりも聖書やその関連書籍(貴NPO差入冊子含め)を読み込んでいる次第です。もともと仏教抛りの「無神論者ではない無宗教科学視点者」でありましたが、百万人の福音等にも記される如く、科学(広義の自然科学は神学まで内包しますが、この場合は唯物科学)と宗教(キリスト教や仏教など)の統合された未来の宗教へのアプローチは感銘を受けました。

仏教や古今東西の哲人、宗教外の恩義もあり、中庸を貫くため特定の宗教に入信することは出来ませんが、キリストを敬愛し、その縁を結んで下さった貴NPOを有難く思い感謝しているのは真実です。私は余生の全てを掛けて、神仏へ祈念し続けます。余命の全てを掛けて、他者の内に在る仏性(神性)を引き出せるように努め、自らの内に宿る神性(仏性)を他者に映せるように生きる覚悟です。

職業訓練を終えて

社会復帰促進センター Tさん

無事にM刑務所での職業訓練を終え、5月上旬にこの地域へ戻ってきました。訓練の結果はというと、MOSはWordとExcel共に合格、基本情報技術者の方は結果の告知がまだされていません。試験結果は既に発表されているはずですが、そこは官なのでやはり時間がかかるのでしょうか。結果が気になり、モヤモヤとした日々を送っています。

しかし、M刑務所で過ごした半年はとても充実し、得るものも多かったような気がします。ITについて学ぶにつれ、最新のテクノロジの本質が分かったり、自分の進む道としている道に対する迷いが無くなりました。

また、今後は日商簿記の資格と宅地建物取引士の資格を取るという新たな目標もできました。少しずつではありますが、満期から5年後までの就労や生活の目標もできつつあるので、それに向かって頑張りたいです。出所後に果たしてスムーズに就労できるのかは不安要素として残りますが、今自分にできることに一生懸命取り組んでいこうと思います。

コロナ禍が過ぎて

A刑 Sさん

GWが終わり居室の窓から見える桜も散り、5月8日にはコロナが2塁から5類へと変わり、「有事」から「平時」に移行することになりました。

有事におけるコロナ禍の生活は3年以上にも及び生活を一変させましたが、最近では現役の医者や関係者らが、「コロナは感染しても大したことはない」、「風邪とほとんど症状は変わらない」などと話していて、3年前に1回目の緊急事態宣言が発令されたあたりで著名人や一般人らがSNSなどで、「コロナはただの風邪」、「ノーマスク宣言」などとして炎上し、自粛警察・マスク警察のような正義感に満ちた輩に誹謗中傷や差別を受ける人が多く見受けられました。未知なるウィルスが結局ただの風邪みたいなもので大したことないのでは？と、コロナに振り回された3年だったんだなあと改めて感じました。

毎月の「たより」の受刑者からの手紙の中では刑務所内のコロナ感染について書かれているものがあり、私自身はこれまで5度工場ストップを経験し、その内の1回は1ヶ月半にも及びました。制限の多い刑務所の中で、

工場がストップして更に制限がかかった生活にストレスが溜まる一方でした。

炊場が止まると非常食となり、入浴は居室での拭身となり、洗濯は手洗いとなり、作業の代わりに自主学習や読書の時間となり、年間の行事も中止や違った形での開催となったり、度重なる延期などでドタバタしていました。

私はこれまで刑務所内で3回のワクチン接種をしたのですが、政府は散々ワクチン接種するよう求めていたのに、最近では若者や基礎疾患？のない人らは接種する必要はないとか、感染して集団免疫を作っていく方向でという話を聞いていると、ワクチンなんて打つ必要はなかったんだなあと思いました。

マスクについては現在、個人の判断に委ねるとされていて（刑務所では着用）、社会では7割方着用されているようですが、ニュースでは「なぜマスクを外さないのか」、「脱マスク加速か？」などと煽り、個人の判断に委ねるとしながら外すことを強要しているかのような雰囲気違和感を覚えました。

また刑務所は社会と違って閉鎖された空間で集団生活を送っていますが、度重なるコロナ感染による工場ストップがあったように、コロナの脅威は同じようにあ

り、感染経路は移送されてくる受刑者もですが、ほとんどが塀の外を自由に出入りできる職員であって、5類になったことでより移動が活発となって外でノーマスクの結果、コロナを持ち込むことはこれまで以上に高いと思うし、老人ホームと揶揄されるほど高齢者率の高い刑務所でもあるので、最低限の感染対策は今後も必要だと思います。

仮取からまもなく1年が経とうとしており、満期出所までは残り8ヶ月程度となりました。毎日がとても速く、出所後の生活設計も立てられていない状況ですが、投げ出さず取り組んでいきたいと思っています。

日々の読書

矯正医療センター Fさん

いつも書籍までも送付をして頂きまして大変有り難うございます。今回もまた高山右近の話の本を読ませていただきます。身体の調子が良い時しか読み進むことができませんので1日に10ページ位が今のところの平均の読書量になっておりますが、私は歴史物が洋の東西を問わず好きですのでとても面白く読ませて頂いております。

今もまだ「光の人」という1000人の孤児を救った門馬幸太郎という人の心のどうか、器の大きさに心を奪われております。それも、キリストの教会学校であり、イタリアのドン・ボスコという人が日本の子供達のために建てたという話でもあり、同じ敗戦国であるイタリアの人が、どうして戦後間もない日本で？と、思わざるをえない心境でした。

門馬も、そんな学校のまだ若い教員見習いの身分だったのですが、やがては総理のファーストレディーをも動かす活躍をしていき、命の家という法人を立て、ビルを建てと、どんどん進んでいく行動力には、今の理事長が私には重なって見えてくるのですが、他のマザーハウスの会員の方々も同じ想いで読んでいるのではないかと思ってしまう。その不撓不屈の精神を私もいくらかでも頂けるものなら頂きたい気持ちになっております。

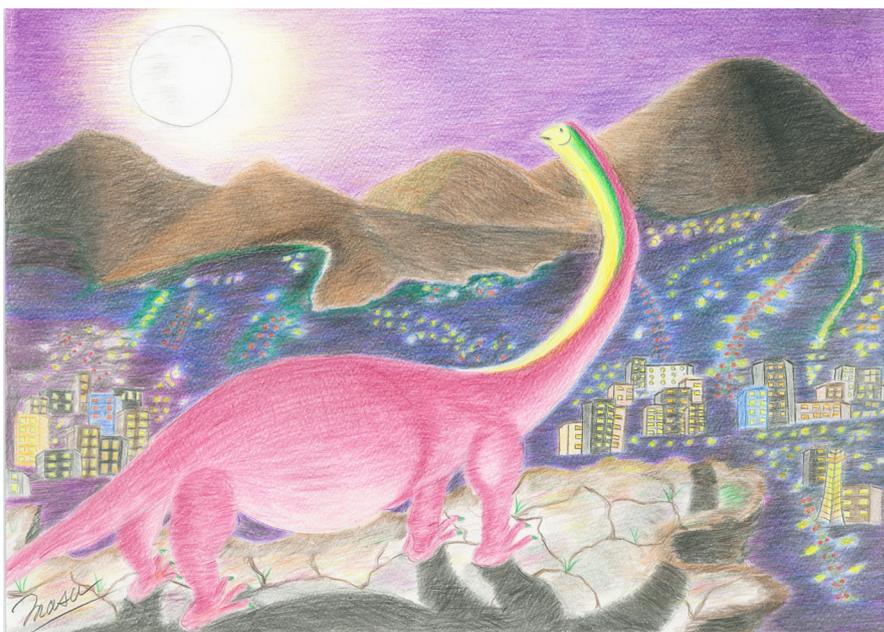
あと何ヶ月生きていられるか判らないですが、もっと前向きに生きようと自分に言い聞かせているところでもあります。



受刑者からの手紙



受刑者からマザーハウスに寄せられた手紙 - つづき -



絵：masaさん「夢〜私と社会〜」

ちちみみしお「トーナー」

覚悟がすべてだ

1 ハムレットの覚悟

“Readiness is all.”（「覚悟がすべてだ」）シェークスピアの小説「ハムレット」の中の有名な一文である。直訳は、「準備がすべてだ」であるが、「すでに心の準備が整った。さあ、やるぞー」という不退転の覚悟を決めることを意味する。ハムレットは優柔不断な青年の代名詞のように言われているが、この言葉にあるように、「熟慮したうえで覚悟して断行する勇敢な人物である」と評される場合もある。（河合祥一郎訳「ハムレット」：NHK出版）

物事が思うように行かない場合の多くは、自分の優柔不断さに原因がある。結果がどうなるのか不安があるため、決めかねていると次第に泥沼に陥っていく。そんな時こそ、「結果がどうなるかと、私はこうするんだー」と最悪の結果を受け入れる覚悟をすることである。そうすれば迷うことなく前進することができる。

そして多くの場合、望んだ結果を得ることが出来る。そうでなくても、他人や状況のせいにはせずに、自分の責任において結果を受け入れ、新しく前進することができる。

2 裁判への覚悟

3人の弁護士から断られた方から訴訟受任の依頼を受けたことがある。事情を聞いてみると、その方の言うことは真実だと思われたが、裁判で勝訴するには証拠があまりにも不十分だった。「不利なことは分かっています。わたしは負けることも覚悟しています。でも、裁判をしなければ私は一生後悔しますので、どうか引き受けていただけませんか」とお願いされた。しかし、もろもろの事情により、代理人になることを丁重にお断りせざるを得なかった。

「わかりました、では、別の弁護士を探してお願いしてみます」。断られることを予期していたのか、そう言っただけの方は憤慨もせず帰っていった。3年ほど経ったある日、その方が裁判で勝訴したことを知っ

た。その方の覚悟が判決に影響を与えたとしか考えられない。

3 十字架への覚悟

イエスは、十字架にかかる前に、ゲッセマネという場所で、悲しみもだえ始められ、「わたしは悲しみのあまり死ぬほです」と、ひれ伏して祈った。「わが父よ。できますことなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの願うようにはなく、あなたのみこころのように、なさってください」。「わが父よ、どうしても飲まずには済まされぬ杯でしたら、どうぞみこころのとおりをなさってください」と3度も祈られた。(マタイ26:36〜44) イエスがこう祈る時に、汗が血のしずくのように地に落ちた。(マルコ22:44)

そしてついに、イエスは父なる神のみこころに従う決断をし、肉体的、精神的、霊的な苦しみと死を受け入れ、十字架にかかる覚悟をした。こう覚悟した後、敢然として十字架への道をまっすぐに進まれた。イエスのこの覚悟がなければ、人類の救いはなかったのである。

「その時パウロは答えた、「あなたがたは、泣いたり、わたしの心をくじいたりして、いったい、どうしようとするのか。わたしは、主イエスの名のためなら、エルサレムで縛られるだけでなく、死ぬことも覚悟しているのだ」

(使徒行伝21:13)

「このように、キリストは肉において苦しまれたのであるから、あなたがたも同じ覚悟で心の武装をしなさい」

(1ペテロ4:1)

「心をつくして主に信頼せよ。自分の知識に頼ってはならない。すべての道で主を認めよ、そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる」

(箴言3:4, 5)

ナカキ ミつお(弁護士)

(偶数月掲載) 専門インストラクター ニロ先生による

プリズムアート倶楽部

6月になると、家の近くの土手には、野生化したユリが咲き始めます。

オレンジ、白、ピンク等々、とても華やかなので、子供の頃の話になりますが、花束にして家に持ち帰りたいたいと思いました。その時に、野生の花は他の人も楽しむものだから残していこうねと、家族に言われた記憶が有ります。

皆さんは、どの様な思い出が有りますか？

では、準備が出来たら、描いてみましょう。

描き始める前に：

■絵は、自分の中のイメージを表現する事が大切なので、ハンドペイントの良さを生かして、自由に描いて下さい。文通をされている方は、便箋や封筒に描くと、楽しく可愛いアクセントになりますので、ぜひお試し下さいね。

■このコーナーは、絵画の模写を体験するもので、絵画技法の習得を目指すものではありません。模写（アレンジOK）の投稿を募集中です。当技法についての詳細を知りたい方、また、作品発表等について考えている方は、規定が設けられているため、必ずご相談下さい。

今月のテーマは

「土手のユリ」



■ボタニカルファインアート技法とパステルアートのコラボレーションで描いていますが、ボールペンや鉛筆等、入手し易い文具で描いて頂いて大丈夫です。ボールペンは、PILOTの細いペン等が推奨されていますが、描きやすいと感じるもので良いと思います。鉛筆は、B以上のもので濃く描くと、質感も柔らかく、描きやすいです。HBやH等ですと、固い質感の為、描きにくいかもしれません。



描き方

■ 花弁を細長く、先端を尖らせて、3枚描きます。上が1枚、下が2枚になる様に描いて、その花弁が、ユリの中心になります。次に、3枚の花弁と対角線上になる様に、下から上の花弁に重ならない様に、3枚花弁を描きます。

■ 花弁の中心には、細かく、点々模様を描き、2本線も描き入れます。小さな丸を中心にまばらに描いて、縦に線を描き入れ、雌しべとします。

■ 茎は長めに描き、葉っぱは、長細く先端をシュッと尖らせて、描きます。

いかがでしたか？

※次回は8月号に掲載致します。

■ 幼少期から家族にうまく愛されず様々な過ちを犯してしまったために、どんどん悪い方へ進んでいってしまつたところに胸が苦しくなった。子を愛せる親にしか「産む・育てる権利」はない方が良いと思いました。

遠くの人は愛せるが近くの人を愛することは難しいという言葉がすごく印象に残りました。その人の良いところも悪い所も見れてしまうため、すれ違いが生じてしまう。そこから暴力などに発展してしまうケースもあると聞きましたが、それでも私は大好きな人をしっかりと愛していきたいし、大切にしていきたいと思いました。

誰かに変えてもらうのではなく、自分で自分を変えなければならぬということもとても心に響きました。

犯罪を犯した人間も我々と同じ人間だということ忘れてはいけない。対話が大事。手を差し伸べてあげられるような存在になりたいと改めて考えさせられる講義でした。

学生の感想

理事長の五十嵐が大学にて講演させて頂いた際に学生の皆さんから寄せられた感想のご紹介です。

■ 一番印象に残ったことは犯罪者には社会とのつながりがないということです。確かに日本の社会は犯罪者に厳しいと思います。お話で面接すら受けさせてもらえなかったというエピソードがありました。社会とのつながりを断つことが再犯につながるのだと思います。社会にうまく帰れないため、また刑務所に戻ってきてしまう人が多いのかもしれないと思います。犯罪は悪いことであり許されないことではありませんが、日本は閉鎖的な国であるためか悪者に対して厳しすぎると思います。北欧の国が受刑者と社会のつながりを断たないようになっているように、日本もそのような仕組みを導入するべきだと思います。

■ 正直な感想を書くこと、犯罪を犯した人との対話は難しい所があると思います。被害者対加害者であれば、被害者からみれば恨めしい気持ちであったり、憎しみの感情を抱くと思います。対等な立場での対話は難しいと思いますが、本人の気持ちであったり態度など、

本人の改心次第で良い方向へと変化していくのではないかと思います。五十嵐さんの人を信じる心に救われた人もいます。

過去ではなく未来を見る、このことは今回のお話の肝となる部分だと思います。他人事ではなく自分事である。当事者であるという認識を持って取り組みたいと思います。

■今回見たビデオにあった、刑務所から出てきた人が生活する「ホーム」と呼ばれる場所はとてもいい所だなと思いました。

人を殴って捕まったなどの普通ではないと思う人でも、そうなってしまうことには原因となる過去があると思う。そのような人たちにも、きちんと人の心がある。どんな罪を犯そうが環境を変えてあげたら時間がかかろうと更生できると思う。犯罪者の気持ちを理解せずに悪いラベルを貼って一般の人と違う扱いをする人が減ればいいなと思いました。

■私は幼少期から環境に恵まれて育ち、やっていいことと悪いことを厳しく、そして優しく教えられて育ってきた。しかし、幼少期から家庭内に居場所がなく、やっていいことと悪いことを教えられずに育っていたら、自分も非行に走っていたかもしれないと考えた。

また、加害者家族を必要以上に追いかけるマスコミや、加害者家族を巻き込む日本の社会に不信感を感じた。社会的制裁という罰を受けるべきなのは加害者本人のはずなのに、加害者の娘さんが学校を転校せざるを得なくなったり、ネットで誹謗中傷と受け取れるような書き込みをするのは間違っているし、偏見だけでこのような行為を行える人間は恐ろしいと感じた。

■犯罪者が釈放されてからの生活は難しいと言っていたが、復帰しやすくしてしまえば犯罪者が増えてしまうのではないか。もちろん当人が悪いのかわからないが、それだけ犯罪を犯すリスクの高さが抑止力になるのではないだろうか。

もつと受刑者の生活をオープンにした方が良かったが、私は取り調べの場もオープンにして欲しいと感じた。

■犯罪を犯した人は刑務所で反省できないと聞き、とても残念に感じた。社会で許されないことは基本的に自分もされたくないことであると思う。自分もされてもよいと考えているならば、正しいのはおいて矛盾はない。もし、自分はされたくないが他人なら大丈夫と知っているならば、それはとても利己主義的である。

看護師 中谷先生による

健康相談窓口

皆さん、こんにちは。先月はお休みさせていただきました。ご心配いただきありがとうございます。ご迷惑をいたしました。ご心配いただきありがとうございます。

歯周病ケアマニュアルですが、部数多めに印刷しています。手紙の回数に制限がある方もお見えになると思いますので、都合に合わせていただいで結構です。ご希望される方がみえましたらご連絡ください。

今月は、社会保障制度の一部についてお伝えします。

社会保障制度は、国民の「安心」や生活の「安定」を支えるセーフティネットで、国民の社会保障に関するリスク（病気、障害、老齢、失業、出産等）に対して国が保障する制度のことです。例えば、健康保険制度、厚生年金保険制度、介護保険制度、雇用保険制度などがあります。これらの制度は国民が安心して生活できるように、必要な場合には適切な保障を提供することが使命です。

社会保障制度は、国民生活の安定や社会資本の形成、国家の発展に向けた重要な役割を果たしています。

Q1. なぜ、社会保障制度があるのかご存じですか？

受刑者の方々も社会の一員であり、受刑中から生活基盤を整えることが必要です。また、出所後に社会復帰するためにも、社会保障制度があるということを知っておくことは大切です。

社会保障制度を知ること、受刑者の方々が生かすための復帰を成功させるために必要な知識を身につけることができます。そして、社会保障制度を正しく利用することで、健康や生活に必要な支援を受けながら生きることができるようになります。社会保障制度はいつでも、自分で申請しないと受ける権利がない制度です。そのためにも、必要な知識は学んで生きていくことがとても大事になります。

Q2. 皆さんが暮らす施設は、どのような省庁の管轄下かご存じですか？

管轄は法務省になります。そのため、法務省の予算で皆さんは生活しています。法務省管轄のため、医療費などの制限があります。しかし、医療費負担はないと思います。それが良いとか悪いとかではな

く、そのような制度の下、生活をしています。社会では健康保険を使って医療が受けられます。インフォームド・コンセントもしっかりと受けられる状態であり、ご自身で医療を受ける場所も選択できます。その点が大きく違うのではないのでしょうか？

社会保障制度は、「社会保険」、「社会福祉」、「公的扶助」、「保健医療・公衆衛生」からなり、子どもから子育て世代、お年寄りまで、全ての人々の生活を生涯にわたって支えるものです。社会保障制度は多岐にわたり、国のみならず都道府県や市町村など、様々な主体がそれぞれに役割を担い、連携しながら実施しています。

生活保護は生活に困っている方が利用できる制度であり、収入・資産・家族構成などを基に審査されます。手続きについては、住所地の市区町村役場の社会福祉課・保健福祉センターなどに相談に行くことが必要です。生活保護には生活扶助・住居扶助・特別生活扶助・医療扶助などいくつかの種類があります。受給額は、申請者の家族構成や収入・資産状況などの条件によって異なります。

また、受給期間に応じて再審査が行われ、必要に応じて受給額が変更されることもあります。まずは住所地の市区町村役場の社会福祉課・保健福祉センターに相談して、必要書類の提出や申請手続きについてのアド

バイスを受けることをおすすめします。また、近くの福祉施設やNPO団体などに相談することもできます。

生活保護申請には住所が必要です。生活保護は住居費の支援が含まれており、申請者が住所を提出しなければ、申請ができません。市区町村役場の福祉課や生活保護課に相談し、状況を説明してください。そこで、住所のない人に対応するために設けられた制度である「住民票抹消者対応等加算」の制度について説明があるかもしれません。この制度では、住所がない人でも条件を満たせば生活保護を受けることができます。

また、近隣の災害支援施設やシエルター、ホームレス支援施設などに一時的に宿泊することもできます。具体的には、市区町村の福祉課や生活保護課に相談し、地域のホームレス支援団体やNPO、ボランティア団体などにも相談することをおすすめします。必要時、マザーハウスにご相談ください。

生存権の憲法25条に「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」という条文があります。この生存権の実現を支援する社会保障制度の一つであり、生存権の第25条に値します。

[次頁に続く](#)

特別生活扶助は、生活保護法に基づき、生活保護を受けている人の中で、特に経済的・身体的な事情が重い人に対して支給される制度です。具体的には、介護が必要な人や、医療費が高額になる病気や障害を抱えている人などが対象になります。

先日、罪を犯した人に対する社会復帰の定義を作るため、島根大学の先生に協力しました。当事者の方々にインタビュー調査をしたのですが、その際、当事者の方々が口々に「社会になじむまでには1年半はかかる」と述べていました。早い人でも10か月ほどの期間、照明の明るさ、音、人の多さ、スピード感、携帯などの環境変化が騒がしくて、落ち着いて生活ができなかったと述べていました。その話を伺い、間もなく卒業される方は期待と不安を抱えて日々過ごされていると思います。絶対に焦ったりしないでください。そして、簡単に結論を出したりしないでください。刑務所に戻りたいと思わないでください。言わないでください。人は考えたことを言葉にするとそのような行動にうつす傾向があります。

皆さんが生きる場所は、刑務所ではありません。社会へ戻る人は、その後は自身の人生を歩んでください。そんな風に思います。

(おわり)



五十嵐亜利沙（妻）による ラブリーDAY

2年ぶりに刑務所から出できた70代のKさん。流石に子供たちは顔を覚えていなくて、寂しそうにしていますが、元気そうで安心しました。私の父は74歳で亡くなったので、Kさんは生かされていると感じました！

人生は何歳になっても本人次第でやり直せる！
残りの人生、謳歌してほしいです。



受刑者の皆さんへお知らせ

- 移送・出所される方は必ずご一報下さい。MLP（文通）に参加している方は文通相手へのお手紙のみ出して頂ければ大丈夫です（差出人欄の住所で確認できるため）。
- お問い合わせが多い内容（例：文通相手の追加を希望したのにまだ決まっていない等）は、返信にかえてお知らせ欄で回答させて頂くことがあります。毎月ご確認頂くようお願い致します。
- MLP ペア決め現状：文通相手のいない受刑者を優先しておりますが、4か月以上お返事が届いていない受刑者の方は文通相手の追加を承りますので、「文通担当」宛にお手紙お出し下さい（お時間かかる場合があります）。
- 冊子 NEXT は寄贈終了、サインズは休刊に伴い、たよりへの同封が終了しました。
- フランシスコ事業部は、会費を全額納付された方のみのご利用となります。フランシスコ事業部を利用しない方は、会費の分納が可能です。なお、マザーハウスに送られた切手やお金は返還できません。あらかじめ資料をよく読み、計画的に送られるよう何卒お願い致します。
- 会費やフランシスコの費用を切手で納める場合（84 円以上の切手のみ使用可）は、1 枚につき現金交換手数料 10 円がかかります。※郵便局の価格改訂に伴い、4 月から手数料が 1 枚 5 円から 10 円に変更になりました。
（例）100 円切手× 5 枚の場合：
500 円－手数料 10 円× 5 枚分 =
受領額 450 円
- 下記に当てはまる場合は、事務局までお知らせ頂きたく、宜しくお願い致します。
 - ・ 突然たよりが送られなくなった。
 - ・ 刑期（出所日）が変更になった。
 - ・ 入会申込書もしくは会費を送ってから 2 ヶ月が経過してもマザーハウスから何も届かない。
 - ・ 聖書（寄贈された中古のものです）の送付を希望する（送料 800 円分が必要です）。
- たよりでは、投稿文以外の普段のお手紙から抜粋して掲載することがあります（受刑者の皆さんは、入会申込書に同意欄があります）ので、「掲載してほしくない」というお手紙・絵画につきましては、都度「掲載不可」と明記して頂きたく、宜しくお願い致します。

編集後記 by 編集局

マザーハウスにお手紙を寄せてくださる読者の皆様、いつもありがとうございます。先月号に掲載させていただいたお手紙へのお返事もとても嬉しく思います。これからもお返事・ご感想いただけたら嬉しいです。



マリアコーヒー (ルワンダ・コーヒー)



製造から販売まで、元受刑者が携わっております。※4月1日より価格を改訂させていただきました。

コーヒー (粉) 200g …1404 円 (税込)
コーヒー (豆) 200g …1404 円 (税込)
カフェドリップ 10g(1 杯分) …162 円 (税込)

継続して購入・販売してくださっている皆様 (順不同)

カトリック茅ヶ崎教会／カトリック北仙台教会／カトリック所沢教会／カトリック浜松教会／カトリック東山教会／カトリック布池教会／カトリック菊名教会／カトリック中和田教会／カトリック新子安教会／カトリック碑文谷教会／カトリック桃山教会 (平和環境部) ／カトリック東仙台教会／カトリック春日部教会／カトリック足利教会／カトリック神田教会／カトリック太田教会／カトリック大分教会／カトリック西千葉教会／カトリック下井草教会／カトリック新潟教会／カトリック多治見教会／カトリック芦屋教会／カトリック鷺ノ宮教会／カトリック松戸教会／ドン・ボスコ社／クリスト・ロア宣教修道女会／日本カトリック神学院／聖母訪問会

ルワンダの祈り



ルワンダでは、1994 年、フツ族によるツチ族の大虐殺がありました。史上稀に見る残虐な内戦によって、ルワンダの人々は心身ともに非常に深い傷を負います。しかし内戦終了後、恨みや憎しみから、復讐が復讐を呼ぶ状況に陥りかねない中、ツチ族の人々は、復讐ではなく、和解と共生を選択しました。マリア・コーヒーは、この和解と共生の地から届けられた生豆を使用しております。

マリアの紅茶



オーガニック
純スリランカ産セイロンティー

50g (2g 入り 25 袋) … 1080 円 (税込)

マリアコーヒー & マリアの紅茶のご注文はウェブサイト・メール・FAXにて承っております。

FAX : 03-6659-5270



ご注文・ご支援詳細

ラウレンシオ (便利屋業)

元受刑者の就労支援の一環として、不用品処理、遺品整理、掃除などをさせていただきます。お見積りは無料です。

*2020 年 12 月より、株式会社ルツに移行しました。

TEL : 03-6659-2110

FAX : 03-6659-2180

メール : info@ruth-llc.co.jp

古本募金 (きしゃぼん)

書籍やDVDを下記にご寄付頂くと、マザーハウスに還元されます。

送り先 :

〒358-0053 埼玉県入間市仏子 916

マザーハウス きしゃぼん係

TEL : 0120-29-7000

* マザーハウス事務所への送付はご遠慮ください。

獄中 POST シリーズ

引き継ぎ作業中のため、一時的に活動を中止しております。再開次第お知らせ致します。

ご支援

正会員(一口5000円/年) 賛助会員(一口3000円)
社会復帰支援(ご寄付)を随時募集しております。

振込口座名 : トクヒ) マザーハウス

郵便振替口 : 00170-0-586722

みずほ銀行 : 新宿支店 普通口座 2376980

*info@motherhouse-jp.org 宛に内訳をご送付願います。

洋服等の物資の送付先 :

〒130-0024 東京都墨田区菊川 1-16-18-1F

マザーハウス TEL : 03-6659-2110

随時ボランティアの方を募集しております。

TEL : 03-6659-5260

メール : info@motherhouse-jp.org

マザーハウスたより 2023年6月号

発行日 : 2023年6月15日 発行責任者 : 五十嵐 弘志

〒130-0024 墨田区菊川 1-16-18-3F NPO 法人マザーハウス